

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570608505		
法人名	有限会社テレサ		
事業所名	グループホームテレサ		
所在地	秋田県男鹿市脇本脇本字向山166番地12		
自己評価作成日	令和2年10月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和2年11月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員各自が事業所の理念を理解し、入居者の状況に応じた介護計画を実践しているグループホーム「テレサ」は観光地男鹿半島のほぼ付け根に位置し、日本海の眺望良好な場所に立地し入道崎や男鹿水族館、鶴ノ崎、寒風山など観光資源に恵まれており、又、近隣の市町村の観光地にも近接して、外出の際は入居者に潤いのある生活が提供できると思います。防災に関する事項として、天喜建設株式会社と災害時の防災協定を締結しており、火災時の避難訓練の参加や、土砂災害警戒情報の発令時の合同訓練等を実施して、入居者の安全、安心、安息に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍の中で制限のある生活を送っていますが、面会の仕方を工夫したり、空気清浄機の導入で感染防止に努め、日常の関わりを大切にして安心して過ごせるよう取り組んでいます。現在は中止していますが、昔語りの来訪、生け花講師や幼稚園児との交流は利用者の活性化に繋がっており、職員が工夫することでボランティアと一緒にやってきたことを暮らしの中に取り入れています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営上の方針や目的を管理者会議で話し合いお互いに職員同士はその意義について確認している。	ホームで目指すサービスの原点として策定されており、介護計画にも反映できるよう見直しの際には理念を意識して取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染対策の影響で地域利用事が中止されており、施設内での行事にとどまっている。地元の小学校の運動会には、他参加者とは密にならないように注意を払い見学を行っている。	幼稚園児やボランティアの方々との交流を通じて地域との関わりを大切にしています。現在は感染防止に努め、交流支援は中止していますが、小学生の通学の行き帰りには挨拶を交わしています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	無断外出をしてしまう方がいるため、同行時に近所の方々への見守りをお願いする声かけをしている。子供たちと行違うときは、お互いに挨拶を交わし顔の見える関係を築いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の委員の皆様へ、テレサの状況報告をし、意見を頂きその提言をもとに、地域とのつながりを深くすることに努めている。	現在は書面報告のみとなっていますが、例年の会議には地域の方が多く参加していることから祭典や災害時の情報を得る機会となっており、サービスの向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域密着型開設以来、市の担当者と連携を図りながら、入居者にサービスの提供をしている。	窓口に出向くことも多く、電話で不明点を相談する等して利用者の支援に繋げている他、包括支援センター主催の研修に参加して情報交換しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修を通して理解できている。身体拘束が必要な場合も委員会や介護スタッフで十分話し合い、家族の同意を得ているが常に解除に向けた取組をしている。	研修等を通じて理解を深め、状況に応じて話し合いの機会を常に設けています。やむを得ず行う場合には同意書、経過記録を残し、その体制も整えています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修を通して、介護スタッフは理解できている。介護現場では、お互いの意見交換をしながら虐待行為に進展しないように、常に声をかけ注意しあっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	倫理・法令遵守の理解の施設内研修を開催し職業倫理とは、法令遵守とはなど管理者、介護員が学び、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規入居者様の契約締結時に、契約書及び重要事項の説明をし、ご家族の理解と同意を得ているまた、重要事項の改定が発生した時は、十分説明し理解と同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話があったときには、常に近況報告をし入居者からの話や家族からの意見、要望を確認している。職員全員が話しやすい環境を心掛け対応し運営に反映させている。	家族と自由に面会ができない時でもあり、電話で連絡をとっている他、写真付きの状況報告書を送付しており、意見、要望には都度検討し、対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回の管理者会議を実施し、その内容を各ユニットでの職員会議で報告・協議し、運営やサービス提供向上に反映させている。	介護備品の増設、建物環境の改善等に職員のさまざまな意見や提案がこれまで取り入れられており、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1回の代表者会議を開催し現場の声や状況を伝える機会を持っている。意見や要望については、その都度改善がみられる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新型コロナウイルスや職員の増員が確保できず、外部研修が出来なくなっているが、毎月定期的に施設内研修を開催し職員の質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型の市内グループホームと情報交換を行い、空き室情報や保険者への事務手続きなど情報交換をし、サービスの質の向上に取り組んでいるが勉強会や相互訪問はできていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は、不安を持ちながら、新生活が始まるので、職員全員で不安を解消するように対応している。また、入居者の安全・安心・安息が図られるように、環境づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、ご家族の困りごとや心配事について入居時に話し合い、職員との信頼関係を構築している。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ユニット全体が家族ということを認識し、共に暮らす家族として関係を築いている。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院介助をして下さる家族もあり、常に気にかけて情報交換している。電話連絡を取り合ったり、お互いを必要としている関係を持てるようにしている。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や親族の関係を大切にするため、面会をお願いしている。しかしながら、新型コロナウイルス感染対策のため面会は制限しているので、密接を防ぐためガラス越しで、電話を使用して行っている。	会えないことを嘆く利用者がある程ボランティアの方々とは馴染んでおり、家族とは一定の制限を設けながらも面会を続けることができます。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来るだけ職員が加わり、お互いの交流をサポートできるようにしている。また、個人の得意な部分を認め合いそれぞれが活躍できる場を提供できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院又は他施設に入所後も、入居者との関係を大切に、面会やご家族様と連絡を取っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時に、本人・ご家族の希望を十分取入れ作成し、本人及びご家族の意向は把握している。	日々の生活の中で気づきを記録すると共に朝夕の申し送りを密に行って情報を共有し、モニタリングに繋げています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査で、本人・ご家族・担当ケアマネからの聞き取りなどで、生活歴や馴染みの生活状況を把握しケアプラン作成に十分生かしている。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の心身の状態を把握し、本人の残存能力が生かせるように、日々の生活の中で配慮している。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人及びご家族から話を聞き、希望に添った施設生活が送れるように介護計画を作成し、又、目指している。	介護計画の実施状況の評価、モニタリングを行い、現状に即した介護計画を作成しています。家族の意向は利用者の状況を伝えた際に聞いて反映させています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個人のケア記録記入は勿論のこと、職員会議及び申し送り事項などに細心の注意を行い介護計画の見直しに活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設敷地に公園が整備され、周辺の風景や草花の観賞をするなど、自然の資源を活用し利用者は安全で豊かな暮らしを満喫している。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、家族と協議して受診している。また、訪問看護ステーションとの連絡を取り薬局の薬剤師の協力を得て服用などの指導を受けている。	入居前からのかかりつけ医で継続受診している他、個々の状態に応じた支援が行われており、時には家族の協力を得ながら対応しています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	男鹿みなど市民病院が運営している訪問看護ステーションが毎週1回来所し適切な指導を受け 日常の健康管理や受診時の参考にしている。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際に利用者の心のケアを大切にしながら、病院の主治医・看護師・医療相談員の連携を取り、病院との関係づくりに努めている。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族はできるだけ最後までここで生活させてほしいとの希望を持っている。重度化した場合の対応について無理のない支援と次につなげる支援をスムーズに行えるように取り組んでいる。	医師の確保ができないことから、ホームでの看取りには対応しておりません。ホームでできる支援を家族に説明し、理解していただいています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に急変や事故発生を念頭に置き、全職員が初期対応を考え職務についている。 施設内研修では、「緊急時の対応の理解」を受講し、異常・急変など観察力の向上に努めている。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策については、地震による避難訓練、夜間を想定した火災訓練及び避難訓練を実施して職員の防災意識の向上に努め、地元天喜建設との防災協定により、避難訓練時は協力体制を構築している。	緊急時の連絡体制を決め、協定を締結した会社との合同訓練、土砂災害を想定した避難訓練を実施しています。今後想定されることや訓練で発生した課題解決に向けて訓練を重ねていくことを検討しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者のプライバシーには十分配慮し、入居者の尊厳を大切に、言葉遣いに配慮している。プライバシー保護と個人情報取り扱いの理解及び介護従事者の接遇の施設内研修を開催して、職員の意識向上を図っている。	接遇研修で職員の意識づけを図っています。排泄の失敗にはさりげなく対応し、耳の遠い方への対応を職員間で話し合って筆談でコミュニケーションをとる等、利用者のその時々々の思いや状況に沿って対応しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の日常生活の中で自由に希望を表現しており、自分で決めることができるように努めている また、入居者も自由に意見を出せるようにしている。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活を最優先して、入居者の希望に添って、その人らしい暮らしができるように支援している。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望が叶えるよう、その人らしさの願望があり、自宅にいるときのように、また、その場にふさわしい身だしなみやお洒落ができるように支援している。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者に嗜好調査を行い、調査結果を活かした食事と、職員、入居者一緒に食事の準備と後片付けをして楽しんでいる。行事食や季節の食材を取入れた食事を提供している。	調理に参加していただいたり、山菜の処理や干し柿づくり等で一緒に作業する機会を設け、また、園庭の東屋で昼食とることもあり、食事が楽しみなものになるよう工夫しています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分補給については、特に配慮し職員が常に入居者を観察して、一人ひとりの状況や習慣に応じた支援をしている。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	常に口腔内清潔保持に努めている。自分のできる人は声かけをして行ってもらい、自分できない人には、職員が手伝って毎食後行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、日中と夜間の個別対応に十分配慮し、トイレ誘導等に配慮している。	チェック表で状態を把握し、一人ひとりの状態に合わせてトイレでの排泄を基本にして支援しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防対策として、食後に便器に座ってもらったり飲食物の工夫や施設の公園への散歩などの適度な運動と水分補給など個々に対応している。また、主治医や訪問看護師へ相談したりしている。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	バイタルチェックや体調を確認したうえで、本人へ具合や意向を伺い入浴している。入浴拒否がある場合も時間を変えて声をかけたり、入浴剤で香りや色を楽しんで気分転換を図っている。	体調や希望に沿って対応しており、週2～3回の支援が行われています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時刻は一人一人の習慣や、その日の状態に合わせて就寝までの過ごし方もお任せしている。室内の温度や明るさも個人の要望に合わせている。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療関係者には状態を正しく報告・相談し状態にあった薬の変更や調整をお願いしている。職員は薬についての目的や用量について理解している。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者それぞれの役割分担がありできない部分もお互い協力しあっている。誕生会・敬老会等の行事又は外出・外食にも誘い合っている。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日はできるだけ外を散歩するようにしている。車椅子の人を押ししたり、協力する姿も見られている。以前に比べ外出の機会は減少しているが、少人数で馴染みの場所や思い出の場所に出かけている。	園庭を散歩したり、バルコニーで外の景色を眺めたりとできる限り外の空気が吸えるように利用者を誘い、戸外に出る機会をつくっている他、感染防止のために少人数でドライブに出かけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金管理規定により、本人が自由に使えるようにしており、外出時は職員の管理のもと、所持使用できるように支援している。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族などへの電話の希望があった時は、すぐに対応できるように一覧表を作成している。手紙は文章と一緒に考え見本を示すことで対応できることもありとても喜ばれている。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外の景色が見えるように日中はブラインドを開け、光が強すぎる時はレースのカーテンをするなどしており、空間には生花を置き水がけをしている。寒さを感じやすい方の足元には温風器を置いたり、個々が過ごしやすいように工夫している。	トイレ前に椅子を置いて利用者が暮らしやすい環境づくりを心がけ、冬は加湿器、夏はエアコンで空調管理し、快適な空間になるよう努めています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の居間で独りになったり、気の合う人と生活できる場所を作るため、居間の配置を変えたりして、入居者が喜んでいただけるように工夫に努めている。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室については、入居者が自由に使える部屋として生活しており、自宅で使用していた家具など使い慣れた生活用品を使っている。部屋の模様替えも自由に行い工夫に努めている。	テレビや馴染みのものを持ち込み、安心して過ごせる居室づくりを支援しています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力・能力を生かすため、施設内の掲示板を活用し、それぞれの制作した作品や写真などを飾り、入居者が喜ぶ工夫をしている。		